# (# 服医事関係訴訟の実務 佐々木茂美 編著 新日本法規

### 〔新版〕医事関係訴訟の実務

編著/佐々木茂美 A5 判 556 頁 2005年7月発刊

#### 概要

- ●医事関係訴訟の審理の流れに沿い、裁判手続、因果関係の立証方法など、実務上・理論上の諸問題を採り上げ、 判例・学説を引用しながら詳しく解説してあります。
- ●訴状、答弁書から陳述書・鑑定書等の争点整理のための書面まで、裁判過程で必要な書式例や活用される 各種資料も豊富に収載してあります。

### 目次

- 第1編総論
  - 第1章 医事関係訴訟の概観
    - - 表:医事関係訴訟事件の処理状況及び平均審理期間
    - 第2事件数・審理期間の動向
    - 第3 医事関係訴訟の特殊性・審理遅延の原因
      - 1 専門的な知見を要する訴訟類型であること
      - 2 構造的に被告側に情報・証拠が偏在していること
    - 3 鑑定人確保の困難性
  - 第2章 医事関係訴訟の審理方法
  - 第 1 医事関係訴訟の従来の審理の実情
    - 訴訟提起までの準備
    - 2 弁論手続
    - 3 人証調べ
    - 4 鑑 定
    - 5 判 決
  - 第2 医事関係訴訟の新しい審理方法

    - 2 医事関係訴訟における訴訟運営改善の動き
    - 3 医事関係訴訟における新しい審理方法
    - 4 集中証拠調べの実施
    - 5 鑑定の改善
    - 6 裁判所書記官の役割
  - 第3 医事事件の集中部の発足
    - 1 経過
    - 2 実情
- 第2編 各 論
  - 第 1 章 訴え提起前の準備
    - 第 1 証拠保全
      - はじめに
      - 2 証拠保全の要件
      - 3 証拠保全の手続
        - <書 式>
        - ●証拠保全申立書
        - ●検証調書 (コピー方式)
        - ●検証調書 (ビデオカメラ方式)
        - ●検証調書 (デジタルカメラ方式)
        - ●証拠保全決定書
        - ●決定書主文例 (検証の場合…検証物提示命令付き)
        - ●決定書主文例 (検証の場合…送付嘱託)
        - ●決定書主文例(書証の場合…文書提出命令)
        - ●決定書主文例 (人証の場合)
        - ●決定書主文例(却下の場合…主文及び理由)

- 第2 訴えの提起前における証拠収集の処分等
  - 1 はじめに
  - 2 訴えの提起前における照会
  - 3 訴えの提起前における証拠収集の処分
- 第3 その他の準備
  - はじめに
  - 2 診療録等の開示制度
  - 3 23条の2照会
- 第 4 訴え提起前の示談、医師賠償責任保険制度
  - 1 訴え提起前の示談
  - 医師賠償責任保険制度
- 第5調停
  - はじめに 1
  - 2 民事調停と民事訴訟
  - 3 民事調停事件としての医事調停事件
- 第2章 訴え提起
  - 第 1 訴状の提出
    - 訴状の記載事項
    - 2 訴状審査
    - 3 訴訟上の救助
    - <書 式> ●訴状 (死亡事例)
      - ●訴状(後遺障害事例)
      - ●被告の表示(国の場合)
      - ●被告の表示(地方公共団体の場合)

      - ●被告の表示(国立大学法人の場合)
      - ●被告の表示(国立病院機構の場合)
      - ●被告の表示(医療法人の場合)
      - ●被告の表示(個人病院の場合)
      - ●被告の表示(担当医師・担当看護師の場合)
      - ●訴訟救助申立書
      - ●訴訟救助付与決定
      - ●訴訟救助申立却下決定
      - <資料>
    - ●医事関係訴訟訴状審査表
- 第 2 答弁書の提出
  - 答弁書の提出
  - 2 答弁書の記載事項
    - <書 式>
    - ●答弁書
- 第3 書証の提出
  - 1 書証の分類方法
  - 2 書証の提出時期と提出方法
  - 3 書証等の収集手続とその実施時期等





# 〔新版〕医事関係訴訟の実務

# 目次のつづき

- 第4章 医事調停
  - 第 1 医事関係事件における医事調停の活用
    - 1 早期の医学的専門知見の積極的な活用
    - 2 専門的知見を踏まえた付調停
  - 第2 専門家調停委員の調停手続への関与の方法
    - 1 はじめに
    - 2 委員会型の場合
    - 3 意見聴取型の場合
    - 4 調停委員の選任
  - 第3 医事調停事件の審理の在り方
    - 1 適切な事案の選択と当事者の意向の尊重
    - 2 調停手続における透明性の確保
    - 3 付調停の時期
    - 4 調停事件の進行
    - 5 調停不成立となった場合の成果の利用
      - <書 式>
      - ●弁論準備手続調書
      - ●付調停決定
      - ●調停主任裁判官の指定
      - ●調停委員の指定(委員会型)
      - ●調停委員の指定(意見聴取型)
      - ●調停調書(成立)(委員会型)
      - ●調停調書(成立)(意見聴取型)
      - ●調停調書(不成立)
      - ●期日調書
      - ●17条決定例
- 第5章 専門委員
  - 第 1 医事関係訴訟における専門委員の活用
    - 1 専門委員制度の創設
    - 2 専門委員制度の趣旨
    - 3 医事関係訴訟における専門委員の活用
  - 第2 専門委員の医事関係訴訟への関与の手続
    - 1 関与決定
    - 2 専門委員の指定
    - 3 関与決定の取消し
    - 4 専門委員による説明
    - 5 手続の透明性
  - 第3 専門委員の医事関係訴訟への関与の在り方
    - 1 はじめに
    - 2 争点整理手続に関与する場合
    - 3 証拠調べ手続に関与する場合
    - 4 和解手続への関与
  - 第 4 今後の課題
    - 1 専門委員の拡充
    - 2 専門委員の研さん
    - 3 当事者の理解と強力
      - <資 料>
      - ●医事関係訴訟における専門委員の関与のイメージ <書 式>
      - ●基本調書の記載例 (専門委員関与に対する意見聴取)
      - ●専門委員関与決定(争点整理又は進行協議の場合)●専門委員関与決定(証拠調べ手続の場合)
      - ●専門委員関与決定 (和解手続の場合)
      - ●専門委員変更決定
      - ●専門委員関与取消決定
      - <資 料>
      - ●事項索引
      - ●主要医事関係最高裁判決例一覧





# 〔新版〕医事関係訴訟の実務

#### 目次のつづき

4 証拠説明書

<書 式>

●証拠説明書

第 4 訴え提起段階の裁判所書記官の役割

1 訴状受理

2 訴状審査

3 第1回口頭弁論期日の指定

4 呼出状・訴状等の送達

5 証拠保全記録の取寄せ

6 答弁書の提出

7 その他

第3章審理

第 1 第1回口頭弁論期日

1 はじめに

2 第1回口頭弁論期日前における原告との協議

3 第1回口頭弁論期日前における被告との協議

4 第1回口頭弁論期日指定の時期

5 第1回口頭弁論期日における審理

6 裁判所と当事者が共有した情報の記録化

7 プロセスカードの利用について

<資 料>

●被告に対する送付文書等のお知らせ

●医事関係訴訟の進行についてのご連絡

●医事関係訴訟審理モデル

●参考事項の聴取書 (原告用)

●参考事項の聴取書(被告用)

●診療経過一覧表の記載例

●事件概要メモ

●プロセスカードの利用案内

●プロセスカード

第2 争 点

1 医事関係訴訟における債務不履行構成と不法行為構成

2 医事関係訴訟における争点の類型

3 診療契約上の債務不履行、過失

4 説明義務違反

5 因果関係

6 損 害

第3 争点整理 1 争点整理の意義、在り方

2 争点整理手続

3 診療経過一覧表

4 争点整理表

5 争点整理のためのその他の工夫

6 争点整理段階の裁判所書記官の役割

<書 式>

●診療経過一覧表

●専門用語集

●検査結果一覧表

●投薬一覧表

<資 料>

●準備書面の工夫例

●ラウンドテーブルにおける争点整理の工夫例

第 4 争点整理手続における専門的知見の活用

1 争点整理段階での専門家関与の必要性

2 専門委員及び付調停の活用

3 鑑定の早期採用

4 当事者が同行する専門家の利用

5 当事者から提出される私的鑑定書 (意見書、陳述書等も含む。)の利用

6 争点整理手続における人証調べの利用

<資料>

●私的鑑定書(意見書)

第5 争点整理手続の終結

1 争点整理手続一般について

2 各争点整理手続の終結に当たって

3 立証計画の策定

第6 証拠調べ

1 従来の人証調べの実情と問題点

2 集中証拠調べの原則

3 集中証拠調べを実施するための方策

4 集中証拠調べの実施

5 証拠調べ段階の裁判所書記官の役割

< 書 式 >

●陳述書 (患者側 (本人·家族等))

●陳述書(担当医師)

<資料>

●書証(画像に説明を加えたもの)

第7鑑定

1 はじめに

2 鑑定の必要性と問題点

3 鑑定人の意見陳述方法

4 鑑定方法

5 鑑定費用の予納

6 鑑定事項の決定

7 鑑定人選任手続

8 鑑定依頼の方法

9 鑑定人指定後の鑑定人との打合せ等

10 鑑定意見の吟味、検討方法

11 鑑定の評価

12 再鑑定

13 鑑定段階の裁判所書記官の役割

14 まとめ

<書 式>

●鑑定書のひな形

●事件終了のお知らせ

<資料>

●鑑定人に配慮した鑑定手続の改善

●民事訴訟法民事訴訟規則の改正後の鑑定手続の流れ(イメージ図)

●医療訴訟ガイダンスプログラム

●共同鑑定の流れ

●複数鑑定の流れ

●アンケート方式の流れ

●カンファレンス方式の流れ

●医事鑑定大阪高裁ネットワークを利用した鑑定人候補者推薦依頼手続の流れ

●送付書類目録

●鑑定人候補者推薦依頼書

●鑑定人候補者推薦依頼文

●鑑定手続の流れと留意事項について

●鑑定についてのお願い

●鑑定依頼書

●結果通知 第8 和 解

医事関係訴訟における和解の実情と特殊性

表:医事関係訴訟の終局区分別既済件数及びその割合

2 和解勧試の時期と勧試方法

3 和解条項作成上の留意点

第9 判決

1 はじめに

2 あるべき判決書の内容

3 判決書作成の留意点

<書 式>

●旧様式判決書の例

●新様式判決書の例 (1)(2)

●モデル判決書の例

